

油井×結い見守りプロジェクト

～油井小中学校放課後見守りボランティア～

油井×結い見守りプロジェクトさばくり委員会

1. 目的

放課後、油井小中学校の子どもたちが、保護者のお迎えや、次の活動を待つ間の時間、安心・安全に過ごせる居場所をつくる。加えて、大人同士のコミュニケーションの場としての機能を果たす。

2. 趣旨

- ・放課後、家庭・学校以外で子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所づくり。
- ・地域の方々を中心に、「信頼」と「おかげさま」の想いのもと、子どもたちが様々な人との触れ合いを楽しむ場。
- ・子どもたちを見守りつつ、地域の方々にとっても新しい発見や心の健康づくりの場。

3. 参加メンバー

- 油井小中学校児童生徒
- 油井小中学校関係者
- 油井校区在住ボランティア
- 保護者

4. 利用時間

学校がある日の放課後：3時～5時半

5. 活動イメージ

油井校区“想いの循環”でつながる未来への懸け橋

ボランティア見守り隊

集落

子どもたちと触れ合って
元気になれる
生活に変化があって
楽しくなる

各家庭の
生活スタイルに合わせて
子どもの居場所があると
助かる

家庭

放課後の時間

子どもたちがより安心して
過ごせる場所があって助かる

場所の提供+見守り援助隊



子どもたち



ボランティア
見守り隊

お家に帰るまでに
いろいろできる！

- ・宿題を終わらせよう！
- ・三味線しよう！
- ・島口教えてもらおう！
- ・いっぱいおしゃべりしよう！



学校

6. 期待される“福”産効果

核家族が多い中、祖父母ほど離れた年の差交流を日常的に行うことができる。

子どもたちや見守りボランティアの方々の触れ合いが、お互いの心の健康や、脳の活性化、時代を超えた叡智や技術の交流、先人の想いの伝承につながる。

7. 利用にあたって

この油井×結い見守りプロジェクトは、油井校区の完全な地域独立型ボランティア活動です。そのため、予算も何もない状態で、ボランティアの方々も「子どもたちのため」という「思い」だけで運営していきます。もし怪我やその他何かあった場合は、各自、個人の保険内で対処していただくということをご理解の上、ご利用ください。

「みんなの《思い》があってこそ！」の活動です。とにかくやってみて、形を変えながらより良い形を見つけていきましょう。ご理解とご協力にとっても感謝しています！

8. 子どもたちとの約束

- ・ボランティアの方々に「ありがとう」と「おかげさま」の心をもって参加すること。
- ・部屋のものはみんなで使うものなので、大切に扱うこと。
- ・自分のしたいことや、不思議に思ったことなど、自分の気持ちをしっかり伝えること。
- ・難しいな、ちょっとできないかも…と思うようなことこそ、いろいろチャレンジすること。
- ・宿題や課題があったら、最初に終わらせること！

9. 利用方法

- 1、油井×結い見守りプロジェクトのグループラインに入る
- 2、利用者が利用したい日を事前に伝える
→なるべく早い段階での連絡が望ましいが、遅くとも2日前までに
- 3、2を受けて、見守り可能なボランティアさんが「行けます👏」の確認メッセージを送る
→1人以上、利用者が4人以上になるときは2人以上のボランティアが望ましい
- 4、次回気持ちよく使えるように、後片付けはみんなで心を込めて行う
- 5、ボランティアの方々は簡単な活動日誌（別紙参照①）を記入する
- 6、急な予定変更は確実に連絡しましょう。みんな、それぞれの「大切な時間」を使って活動していることを忘れずに。

